



<http://www.organo.co.jp>

オルガノ株式会社

海外からのリモートアクセスをセキュアに支える RSA SecurID®

私たちの暮らしに大切な水資源を支えるべく、水処理ビジネスをグローバルに展開しているオルガノ株式会社。水処理プラント建設など海外で活躍するエンジニアを対象に、いつでもどこからでも国内の社内業務システムにリモートアクセスできる SSL-VPN を構築、設計図面など大容量データを収容するファイルサーバー等への自由なアクセスを実現している。そうしたリモートアクセスにおけるログイン時のユーザー認証ツールとして機能しているのが、RSA SecurID である。クライアントレスな SSL-VPN に必須とされるセキュアな環境確保の重要性について、情報システム部の石崎 賢係長、立山淳一主任の両名にお話を伺った。



海外で活躍するビジネスマンに向けて
リモートアクセスを提供する SSL-VPN
水処理業界のリーディング・カンパニー、オルガノ株式会社(以下、オルガノ)は、発電所や半導体工場に併設される水処理プラント建設などを手がけている。国内はもとよりアジア地域だけでも約10のプロジェクトが進行しているなど、高い技術力を駆使して、グローバルなビジネスを展開している。社内業務の多くの場面において電子化が進む現在、海外で活躍するエンジニアにとって、いつでもどこからでも社内業務システムに安全かつ自由にアクセスして、自在にビジネスに活用できるリモートアクセス環境の整備はこれからのビジネスに必要不可欠といえよう。

オルガノでは、これまで IPsec VPN によるリモートアクセス環境を数年前から構築、社内メールや電子掲示板の利用をはじめ、ファイルサーバーや社内システムへアクセスしてプラント建設の際に発生する膨大な設計図面に関して最新の図面を取り出したり、購買部で発注された納入部材がいつ現地に到着するかといった進捗状況管理に役立ててきた。しかし「もはや IPsec-VPN は

限界でした」と、情報システム部・石崎賢係長が語る
とおり、IPsec-VPN は同社のビジネス形態に合致してい
なかったという。

「IPsec-VPN の設定は通信環境の影響が大きく、
トラブル発生やシステム更改のたびに、クライアント端
側で再設定作業が必要となります。そのためシステム
担当者が現地まで赴かなくてはならず、運用コストや
ネットワーク復旧までの時間ロスなど、ビジネスに与える
影響は甚大でした。そこで、海外からアクセスする端
末の完全なクライアントレスを実現し、なおかつセキュ
アな環境が確保できる SSL-VPN を構築することとな
ったのです(石崎氏)

SSL-VPN は、Web ブラウザさえあれば、どこからでも
アクセスできるという利便性を持つ。ただしその利便性
ゆえ、不正アクセス等を防止するユーザー認証手段が必
須であり、システム運用面におけるセキュリティ確保が
必要不可欠となる。そこで SSL-VPN の利便性を損な
うことなく、社内資産をセキュアに守り、ユーザー認
証時の高い信頼性を担っているのが、RSA セキュリティ
の RSA SecurID である。

オルガノ株式会社

1946年の創業以来、水処理業界のリーディング・カンパニーとして、水の超高純度化技術や汚れた水の浄化技術等、高い技術力を駆使して、国内はもとより広く海外でも数多くの水処理プラントのエンジニアリングを展開、地球環境の改善や産業の発展に大きく貢献している。



オルガノ株式会社
情報システム部 係長
石崎賢氏



オルガノ株式会社
情報システム部 主任
立山淳一氏

RSA SecurID
導入のポイント

- ・手軽に携帯でき、どこからでもアクセスできる利便性
- ・暗証番号 + トークンという、二重のセキュリティ確保
- ・メンテナンスフリーで管理コストも不要な高い信頼性

SSL-VPNにRSA SecurIDを組み合わせ、セキュアなリモートアクセスを実現
オルガノでは、F5 ネットワークス社の「FirePass」を用いたSSL-VPNを構築、SSLの強固な暗号処理に加えて、ログインの際の認証ツールとしてRSA SecurIDを用いることで、よりセキュアなリモートアクセス環境を実現している。なお、FirePassは完全なクライアントレスを実現するとともに、自由度の高いリモートアクセス環境を提供するSSL-VPN製品として知られている。RSA SecurIDはそうしたFirePassの利便性を損なうことなく、よりセキュアな環境の確保に貢献している。

RSA SecurIDは、高い利便性と信頼性を兼ね備えたユーザー認証ツールである。利用者に配布されるRSA SecurIDに表示される6桁の数字を、暗証番号と合わせてログイン画面に入力、本人確認を行う。指紋認証のような煩雑な専用機器も不要であり、毎分変わるワンタイム・パスワードは、固定パスワードのように番号を盗まれたり推察される心配もない。

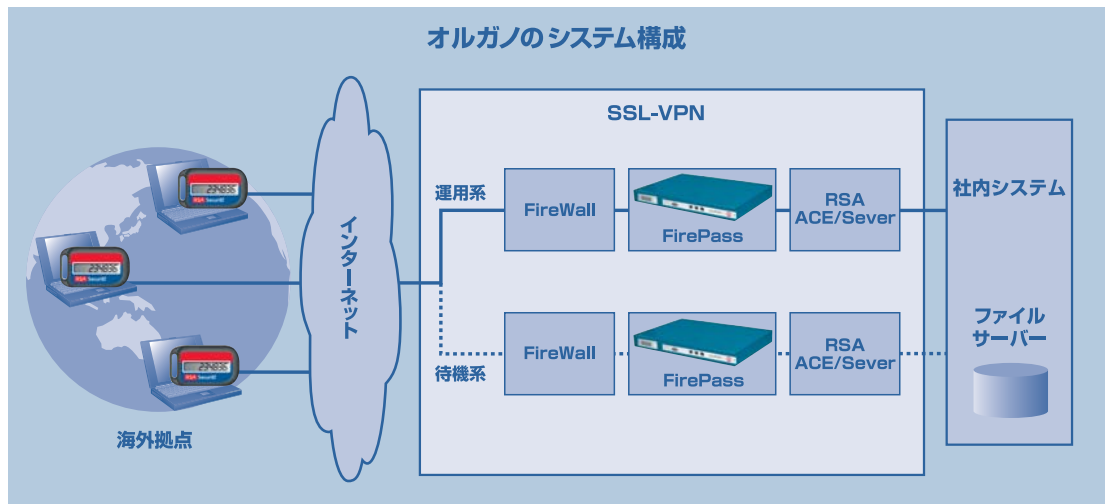
「SSL-VPN構築を決めた当初から、ログイン時のユーザー認証といった運用面でのセキュリティの強化は必要不可欠と考えていました。RSA SecurIDは簡単に使えて安全性も確保できる、実績のある認証ツールであり、今回の導入により不正アクセスに対する心配はほぼなくなったと考えています。認証はRSA SecurIDに任せつつ、今後は情報漏洩対策などに注力して行きたいと考えています」と、立山氏はRSA SecurIDに対する信頼を寄せる。

停止することが許されないビジネス基盤システム二重化にも柔軟に対応するRSA SecurID
今回オルガノが構築したSSL-VPNは、水処理ビジネスの最前線で活躍する海外で働くエンジニアを支援するものであり、停止することが許されないビジネスインフラとして機能している。そこでシステムを構成するサーバーや各種ルータなどの機器を運用系と待機系に分けてシステムの完全二重化を実施、極めて信頼性の高いリモートアクセス環境を実現している。

RSA SecurIDはそうしたシステム構成に対しても柔軟に対応するものでありネットワーク全体の信頼性向上に大きく貢献している。なおRSA SecurIDは、FirePass以外にもさまざまなVPN製品との相互運用性があり、豊富な認証ソリューションを展開している。オルガノでも、RSA SecurIDに関して、今後のシステム更改等にも柔軟に対応するセキュリティツールとしての期待を寄せている。

「現在、海外赴任者を対象に約100個のRSA SecurIDが稼働していますが、キーホルダー型のトークンは故障もなくメンテナンス不要であり、安心して海外赴任するエンジニアに持たせています。最近では国内のモバイルユーザーなども増えてきており、今後はよりセキュアなネットワーク構築を図るべく、RSA SecurIDの利用拡張を検討しています」(石崎氏)

大切な水資源を守り、高い技術力を駆使して、人と地球の未来に貢献するオルガノ株式会社。今後のビジネス展開に熱い注目が集まっている。



RSAセキュリティ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-3-1 東京銀行協会ビルディング
エンタープライズ営業本部 TEL.03-5222-5230
http://www.rsasecurity.co.jp info-j@rsasecurity.com

お問い合わせ先